

田原市

あなたと議会を結ぶメッセージ

議会だより

No.71

平成31年4月15日号

今月の渥美半島の花
「カーネーション」



平成31年第1回定例会 (2/25~3/22)

- 定例会で決まったこと 2
- 税金の使い方が決まりました 4
- 議案一覧 6

その他

- 議会の活動 10
- 議会報告会を開催します 10
- 議会BCPを発動しました 11



和太鼓の演奏で地域を盛り上げよう！

伊良湖岬中学校「わかたか太鼓」ボランティアサークルの皆さんです。
(インタビュー12ページ)

さらなる飛躍を目指す 予算を可決

平成31年 第1回 定例会 (2月25日～3月22日)

こんなことが決まりました。

市長提出議案 49件
議員提出議案 1件

平成31年第1回定例会を、2月25日から3月22日まで開催しました。
平成31年度一般会計予算など議案50件を、いずれも原案のとおり可決・同意しました。
平成31年度一般会計予算に対する附帯決議を全会一致で可決しました。

▷ 関連4～9ページ

議案第43号平成31年度一般会計予算
ほか6件

税金の使い方が決まりました

3月11日から14日までの4日間、予算決算委員会において平成31年度予算の内容を審査し、3月22日の本会議最終日にすべての予算を可決しました。

平成31年度予算規模

総額 426億円
一般会計 297億円
特別会計 110億円
企業会計(水道) 19億円
(億円未満切り捨て)

▽ 関連4・5ページ



社会基盤を充実させ まちづくり

議案第43号平成31年度一般会計予算

伊良湖地区で 温泉掘削がはじめられます

温泉資源を活用した田原市の観光魅力度の向上を図るため、伊良湖地区で温泉を掘削し、新たに温泉管理施設（貯湯タンクなど）が整備されます。交流人口の拡大と地域全体への経済波及効果、地域の活性化などが期待されます。

附帯決議を可決

平成31年度一般会計予算可決後、議員から温泉掘削に関する附帯決議を提出し、全会一致で可決しました。附帯決議では、詳細な事業・収支計画案を議会に提示した後、事業執行することなど、十分に留意して事業執行に取り組むよう求めています。

議案第10号議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正

議員報酬が改定されます

市議会議員の報酬が平成31年4月分から改定されます。これは、田原市特別職報酬等審議会の答申を受け、議員報酬の額が改定されるものです。

■ 田原市議会議員報酬額

	改定前		改定後
議長	50万円	➔	50万円
副議長	42万円		43万円
常任委員長等	40万円		41万円
議員	38万円		39万円

※議長の報酬額は改定されません。

平成31年度予算審査

税金の使い方が決まりました



市長から、平成31年度の予算案が提出され、議長以外の全議員で構成する予算決算委員会において、内容を審査しました。

審査の結果、全ての予算案を可決し、平成31年度の税金の使い方が決まりました。

■ 特別会計の内訳

国民健康保険特別会計	77億3,280万6千円
公共下水道事業特別会計	16億5,782万4千円
農業集落排水事業特別会計	7億3,370万7千円
田原福祉専門学校特別会計	1億2,175万6千円
後期高齢者医療特別会計	8億305万9千円

総 額	426億7,922万2千円 (前年度比 +5億7,018万円)
■ 一般会計予算	297億2,000万円 (前年度比 +7億8,000万円)
■ 特別会計予算	110億4,915万2千円 (前年度比 -1億4,068万5千円)
■ 企業会計 (水道)	19億1,007万円 (前年度比 -6,913万5千円)

「さらなる飛躍への礎を築く」予算

田原市では、平成31年度は新斎場整備や伊良湖岬小学校の新校舎整備などの大規模事業の実施など、一時的な要因により予算額は増加するものの、合併後活用してきた地方交付税の合併算定替えが縮減し続けることに加え、今年10月には法人市民税の税率改正による大幅な減収が見込まれ、極めて厳しい財政状況が予測されています。

平成31年度予算編成では、この先の厳しい財政状況を踏まえ、「総合計画第13期実施計画」、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる施策を着実に推進させつつ、地域の魅力を磨き、社会基盤を充実させ、将来への基礎固めをするための「さらなる飛躍への礎を築く」予算案が、市長から提出されました。

平成31年度の重点施策

- ・ 定住・移住・交流人口拡大
- ・ 働く場の創出と産業基盤の充実
- ・ 利便性の向上と安心安全の確保
- ・ 出産・子育て・教育環境の充実
- ・ 持続可能な地域づくりと強固な行財政基盤づくり

▽予算決算委員会での
審査は8ページ



平成31年度 主な事業

平成31年度の新規事業
を中心にご紹介します。

(万円未満切り捨て)



サーフタウン構想の推進 627万円

(仮称) 弥八島海浜公園プロポーザル、
定住・移住サポーター制度の創設など



赤羽根市街地の整備 1億5,561万円

赤羽根地区土地区画整理事業関連



福江市街地の活性化 500万円

ショッピング周辺活性化のための
調査・検討



空き家対策の推進 550万円

空き家等解体促進事業補助金、
危険空き家の緊急安全措置



親子交流館「すくっと」の運営 3,761万円

親子で楽しく遊べる場、
子育て支援の公共サービスの提供



童浦こども園 開設に向けた整備支援 3億8,823万円

平成32年4月開設予定



伊良湖岬小学校の整備 6億4,585万円

新校舎建築（造成工事・建築工事）
平成33年9月開校予定



新斎場の整備 13億8,415万円

造成工事、建築工事・火葬炉設置工事
平成32年度新斎場（火葬棟）完成予定

■平成31年第1回定例会議案一覧

議案番号	市長提出議案
3	公平委員会委員の選任（加子幸子氏）
4	基金条例
5	ふるさと教育センターの設置及び管理に関する条例
6	ふれあいの里・パターゴルフ場の設置及び管理に関する条例の廃止
7	部等設置条例の一部改正
8	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
9	職員の自己啓発等休業に関する条例等の一部改正
10	議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正
11	使用料及び手数料条例の一部改正
12	市民館の設置及び管理に関する条例の一部改正
13	児童遊園の設置及び管理に関する条例の一部改正
14	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正
15	遺児手当支給条例の一部改正
16	母子家庭等医療費支給条例の一部改正
17	田原福祉専門学校の設置及び管理に関する条例の一部改正
18	赤羽根診療所の設置及び管理に関する条例等の一部改正
19	廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部改正

20	農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部改正
21	道路占用料条例等の一部改正
22	地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正
23	火災予防条例の一部改正
24	ふれあいの里及びふれあいの里・パターゴルフ場管理運営に関する委託事務の変更
25	愛知県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び愛知県市町村職員退職手当組合規約の変更
26	財産の無償貸付け（認定こども園事業用地）
27	財産の無償譲渡（泉市民館伊川津分館・伊川津児童遊園）
29	市道路線の廃止
30	市道路線の認定
指定管理者の指定	
28	赤羽根観光情報サービスセンター（株式会社田原観光情報サービスセンター）
31	港湾（泉港・渥美漁業協同組合）
32	漁港（姫島漁港・宇津江漁港・渥美漁業協同組合）
33	小型船舶係留施設（浦南河岸小型船舶漂流施設・浦区自治会）
34	都市公園（滝頭公園・田原区） （緑が浜緑地・緑が浜2号緑地・田原造園協同組合） （白谷海浜公園・白谷区）

35	緑が浜運動公園（田原造園協同組合）
36	市民館（各地域コミュニケーション協議会）
平成30年度補正予算	
37	一般会計（第5号）
38	国民健康保険特別会計（第3号）
39	公共下水道事業特別会計（第3号）
40	農業集落排水事業特別会計（第3号）
41	田原福祉専門学校特別会計（第1号）
42	後期高齢者医療特別会計（第1号）
平成31年度予算	
43	一般会計
44	国民健康保険特別会計
45	公共下水道事業特別会計
46	農業集落排水事業特別会計
47	田原福祉専門学校特別会計
48	後期高齢者医療特別会計
49	水道事業会計
追加議案	
市長提出議案	
平成30年度補正予算	
50	一般会計（第6号）
51	公共下水道事業特別会計（第4号）
議案番号	
議員提出議案	
決議案1	平成31年度田原市一般会計予算に対する附帯決議

温泉資源の活用（温泉掘削）について
附帯決議を可決

平成31年度田原市一般会計予算に対する附帯決議

平成31年度田原市一般会計予算については、予算決算委員会において活発な議論の下、慎重審議の結果原案可決されたが、その執行に当たっては、下記の事項に十分留意して取り組まれるよう強く求める。

観光施設整備事業（7款1項4目）

- (1) 詳細な事業・収支計画案を議会に提示した後、事業執行すること。
- (2) 観光事業者と連携し、温泉を活用した観光ビジョンを構築すること。
- (3) 温泉湧出の確実性を高めるよう契約内容その他必要な措置を講じること。
- (4) 温泉掘削費及び付帯施設整備費等の上限を2億2千3百万円とすることとし、上限を超える支出を見込む際は、議会に報告の上、同意を得ること。

附帯決議とは

議案などの議決に当たり、付随的に付けられる議会の意見表明。市長などにこれを尊重する政治的、道義的な責務を負わせることはできるが、法的な拘束力はない。

主な質疑

議案に対する
委員会・本会議での
議員の質疑・意見です

議案 No.5

ふるさと教育センターの整備

問 具体的な事業内容は。

答 ふるさとに関する歴史・人物・産業などの資料の収集整理、過去に実践されたふるさと教育の資料・教育資料の収集と提供、市内で発掘された文化財資料の整理・収蔵・展示、いじめ・不登校に関する相談、不登校生徒の学校復帰支援のための学習・適応指導、おおむね40歳未満の不登校・ひきこもりの方への相談事業の集約を考えている。

(3/4文教厚生委員会)



議案 No.10

議員報酬の改定

問 改定により、田原市の議員報酬は

県内類似規模の市における平均報酬額と比較してどうなるのか。

答 県内類似規模の市は田原市を含め

8市あり、現状は、副議長は8市中の8番目、議員は8市中の6番目。今回の改定により、副議長は5番目となり、議員は6番目と変わらないものの、8市の平均月額に近い水準になる。

(3/6総務産業委員会)

議案 No.14

災害弔慰金の保証人規定の変更

問 「保証人を立てることができる」となった背景は。

答 災害時には、保証人を立てることが困難な被災者もいることなどから、今年1月に政令が改正され、

保証人の義務規定が削除された。内閣府の見解により、保証人は条例で定めることが適切とされたことから、被災者が制度をより利用しやすくなるよう、保証人を立てることを義務とせず、選択できるようにした。

(3/4文教厚生委員会)

議案 No.15

遺児手当の支給回数が年3回から年6回に変更

問 受給者のメリットとデメリットは。

答 メリットは受給者の多くが経済的に厳しい状況にあるひとり親家庭であるため、支給回数が増えることにより、家計の安定、利便性の向上を図ることができること、デメリットは特にない。

(3/4文教厚生委員会)

議案 No.19

事業者が剪定する家庭の枝木などを有料にする理由は。

問 有料にする理由は。

答 家庭の庭や生け垣などを事業者が剪定した枝は、事業活動から排出される廃棄物として、事業者自らの責任において適正に処理するものとされていること、また、近年、剪定枝木の搬入量・処理経費がともに増加しており、受益者負担と公平性確保の観点から有料とするもの。

(3/4文教厚生委員会)



予算決算委員会で議員間討議を実施

平成31年度田原市一般会計予算に対する
附帯決議

3月定例会の予算決算委員会において、平成31年度田原市一般会計予算のうち、「温泉資源の活用（温泉掘削）」について、議員間討議を行い、委員が意見を述べ合いました。



議員間討議とは

案件に対する議員の考え・意見が異なる場合などに、議員間で自由に討議（意見の述べ合い）を行う場を設けることで、合意の形成を目指すこと。

田原市議会では、議会の意思決定までの議論の活性化を目的に実施しています。

住民票などのコンビニ交付

問 コンビニ交付サービスの概要は。

答 マイナンバーカードを利用して、住民票や印鑑証明などの各種証明書を全国のコンビニエンスストアに設置されている端末にて取得できるもの。平成32年度下半期のサービス開始を予定している。

(3/11 予算決算委員会)

定住・移住サポーター制度を創設

問 定住・移住サポーター制度の狙いは。

答 既に移住してきた方から、移住に際し、地域の情報提供や移住に関する相談ができる人が身近にいると良いという意見があったことから、移住希望者と地域をつなぐ制度を創設する。

問 人数はどの程度の予定か。

答 既に移住していて、自身の経験や地域の情報を直接伝えられる方を考えている。地域の協力が得られれば、ボランティアとして活動していただける5名程度を見込んでいる。

(3/11 予算決算委員会)

生活困窮者の支援

問 生活困窮者の把握方法は。

答 生活困窮者自立相談支援事業を田原市社会福祉協議会に委託。田原・赤羽根・渥美の各福祉センター内に窓口を設置している。窓口に来られない方は、市役所内の各担当課、高齢者支援センター、医療機関、民生委員など、他機関からの情報提供で相談につながっていくケースもある。

問 具体的な支援内容は。

答 支援プランを作成し、就労支援や持っている資産活用相談、フードバンクを活用した食糧支援などを行っている。

(3/12 予算決算委員会)

病後児保育の開設準備

問 施設を利用できる対象は。

答 田原市内の小学校就学前の幼児・乳児を対象として検討している。

問 開設する場所、開設の時期は。

答 渥美病院の医師住宅での開設に向けて調整を図っている。今後、必要な改修を行っていく予定。平成32年4月の開設を目標に準備を進めている。

(3/12 予算決算委員会)

幼児教育を無償化

問 田原市への影響、無償化に対応する準備は。

答 保育の必要性のない児童である私的契約児は無償化の対象にならないため、無償化となるよう公立保育園を認定こども園に移行する。認定こども園になるメリットは、保護者の方の就労状況の変化などで保育の必要性がなくなった児童も継続して入所できる。

(3/12 予算決算委員会)

20歳のピロリ菌検査

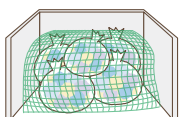
問 検査の対象を20歳とした理由は。

答 胃がんの主な原因となっているピロリ菌の除菌を、子どもを産み育てる前の若い世代に行うことで、次の世代への感染予防につながっている。

問 実施方法は。

答 成人式の通知の時期に合わせて受診券を郵送する。長期休暇中の帰省時などに検査を受けられるように再勧奨の通知も送る。

(3/12 予算決算委員会)



ごみの分別のPR

問 ごみの分別方法が変更されてから1年が経った。地域には理解が十分でない方がまだいる。周知の方法は。

答 広報紙やホームページ、ごみステーションでの巡回指導、資源ごみの回収コンテナへのわかりやすい表示などを行っている。平成31年度は、改めて各自治会を対象に説明会を実施する予定。

(3/12 予算決算委員会)

新規就農者の誘致

問 参加を予定している就農誘致イベントとはどのようなものか。

答 農林水産省などが協賛している「新・農業人フェア」で、新規就農希望者のための就農相談の場。田原市で就農する際、どのような支援が受けられるのか。

答 農業技術や経営、農機、補助金のことなど、相談に応じながら支援していく。

(3/12 予算決算委員会)

野生イノシシ対策

問 野生イノシシの根絶に向けた具体的な方策は。

答 田原市猟友会へ委託し、イノシシ用の箱わな、囲いわな、くくりわなを使用して捕獲し、個体数の減少に取り組んでいく。

(3/12 予算決算委員会)

プレミアム付き商品券

問 商品券の販売対象者は平成31年度の住民税非課税者と3歳未満の子どもがいる世帯主となっているが、高校生や大学生がいる世帯の方が経済的負担は大きい。販売対象を拡大してはどうか。

答 今回のプレミアム付き商品券は、消費税率の引き上げに伴い、低所得者、子育て世帯の消費に与える影響の緩和と地域における消費喚起を目的としている国の制度。対象者を拡大することは可能だが、市での予算措置が必要となる。商工会などの意見を参考にした結果、今回は販売対象を拡大しないこととした。

(3/11 予算決算委員会)

温泉資源の活用(温泉掘削)

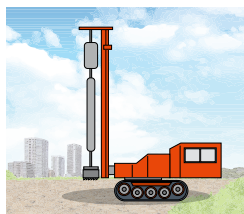
問 市として温泉資源をどのように活用しているのか。

答 宿泊事業者から、温泉だけで客が来るとは思っていないが、温泉ではないことに対してマイナスのイメージを持たれることが多いと聞いている。事業者たちが温泉を活用して自分たちの経営を高めていく思いが必要であるので、商工会とともにサポートしていく。

問 温泉が確実に出るか、再調査してみてもどうか。

答 地表面での地質の状況、電磁波による調査、既存の温泉の状況などからの推察といった掘削をせずにける調査は、既にひととおり行い、温泉湧出の可能性は高いという調査結果が出ている。調査目的の掘削と温泉を掘るための掘削は実質的な内容は変わらない。二度掘削するよりは、いきなり掘削の方が効率性はある。

(3/11 予算決算委員会)



(仮称) 弥八島海浜公園の民間活用

問 (仮称) 弥八島海浜公園のプロポーザルの概要は。

答 平成30年度に行った※サウンディング型市場調査の結果を踏まえ、庁内関係各課で検討を行い、プロポーザル方式の事業提案で優先交渉する事業者を選定していく。

(3/13 予算決算委員会)

※サウンディング型市場調査

自治体が行う官民連携事業において、公募前の事業発案段階や事業化検討段階で、自治体が民間事業者に見解や提案を求め、民間事業者との直接対話を通じ、市場性の有無や実現可能性の把握、アイデアの収集などを行うもの。

空き家等解体促進事業補助金

問 補助金の概要は。

答 不良住宅である空き家と敷地内の塀などの工作物すべてを撤去し、更地にする工事費の一部を補助するもの。

問 対象となる空き家は。

答 1年以上使用されていない個人が所有する空き家で、所有権以外の権利が設定されていない建物。不良住宅かどうかは判断基準に基づいて判断する。

(3/13 予算決算委員会)

小学校での外国語教育

問 市内全小学校での実施に向けた取り組みは。

答 平成32年度の完全実施に向け、市内全小学校で同じレベルの外国語教育ができるように、業務委託による英語教育プログラムの開発を現在進めている。小学校5・6年生では外国語科、3・4年生では外国語活動として、聞くことを中心に捉えた田原市独自の外国語学習に取り組んでいく。

(3/13 予算決算委員会)

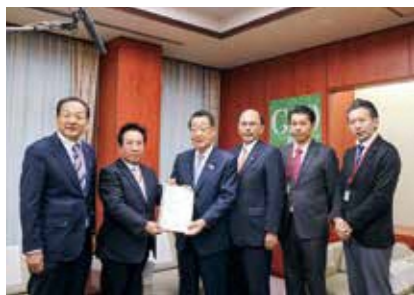
高等学校等バス通学費助成金

問 助成金制度創設の経緯は。

答 市内3高校で実施した公共交通に関するアンケート調査において、公共交通に関する改善希望で最も多かった回答はバス運賃の値下げだった。バス運賃が高く、家計の大きな負担となっていることなどの状況を踏まえ、高校に通う生徒の教育環境や子育て支援、バスの利用促進などを総合的に検討し、通学費用の負担を軽減する補助制度を創設するもの。

(3/13 予算決算委員会)

2月26日
豚コレラ対策に関する要望活動



農林水産大臣に面会し、豚コレラ対策に関する緊急要望を行いました。2月18日には愛知県知事に要望しました。

2月7日～15日
新任議員研修



2月の改選で、新たに議員となった5名を対象に、各分野の現状と課題などについて5日間の研修を行いました。

2月8日
愛知県市議会議長会 定期総会



愛知県内の市議会の議長・副議長が集い、各市・市議会の課題などについて議論しました。

議会報告会を開催します

4月22日(月) 19:00から 田原中部市民館
堀切市民館

4月23日(火) 19:00から 六連市民館
高松市民館
泉市民館

事前申込
不要

お近くの会場に直接
お出かけください

■□ 議会報告会の内容 □■

①定例会の報告 ②市政についての意見交換

田原市議会の活動を知っていただくため、議会報告会を開催します。
ぜひご来場いただき、ご意見をお聞かせください。

□問い合わせ先 田原市議会事務局 TEL0531-23-3533



前回の議会報告会の様子 (福江市民館)

議会BCPを発動しました

田原市議会では、田原市における豚コレラの被害状況が災害に相当すると判断。議長は、2月15日（金）に「議会BCP」を発動しました。この発動は、昨年3月の計画策定以来、初めてのことです。

◆ 2月15日（金） 田原市議会災害対策会議 第1回調整会議を開催

田原市における豚コレラ被害の状況と防疫措置について確認した後、議会としての対応方針を決定しました。

対応方針①：豚コレラの被害状況及び防疫措置について、議会と執行部において情報共有を密に行うよう努めること

対応方針②：豚コレラ被害の早期終息を図るため、執行部職員が行う防疫作業の妨げとならないよう、議会議員は執行部職員の議会対応にかかわる業務負担の軽減に努めること

②の決定に伴い、3月定例会におけるすべての一般質問（代表質問・個人質問）を自粛、または取り下げることにしました。

また、会議などでは防災服を着用することとしました。



第1回調整会議

◆ 2月25日（月） 田原市議会災害対策会議 第2回調整会議を開催

2月24日に防疫措置が完了したことなどを確認した後、議会としての対応を決定しました。

対応①議会BCPを継続するが、2月26日以降の会議では平服とする。



議会事務局事務室に看板を設置

◆ 3月28日（木） 田原市議会災害対策会議 第3回調整会議を開催

田原市における豚コレラ被害の状況と防疫措置について確認した後、議会BCP発動を継続することを決定しました。



平成31年3月定例会 本会議



議員懇談会

● 田原市における豚コレラの発生状況と対応（3月末までの主なもの）

- 2月6日：田原市内の農場にて豚コレラの感染確認
約1,600頭の殺処分を開始
田原市豚コレラ防疫対策本部を設置
- 2月7日：田原市内の主要道に消毒ポイント設置
- 2月13日：田原市内の農場にて2例目の豚コレラの感染確認
約17,000頭の殺処分を開始
市職員も全庁的に防疫作業に従事（24時間体制）
- 2月15日：愛知県知事からの要請により、自衛隊も殺処分に参加
- 2月24日：田原市の豚コレラ発生農場（2例目）の防疫措置完了
- 3月28日：田原市内の農場にて3例目の豚コレラの感染確認
約8,000頭の殺処分を開始
田原市内の主要道に消毒ポイント設置
- 3月29日：田原市内の農場にて4例目の豚コレラの感染確認
約1,000頭の殺処分を開始

● 議会業務継続計画（議会BCP）とは

BCPは、「Business Continuity Plan」の略で、災害や事故など不測の事態を想定して、事業継続の視点から対応策をまとめたもの。大規模地震などの災害が発生した場合にも、迅速に議会機能の回復を図り、市民ニーズを的確に反映した復旧・復興に早期に取り組みるよう、田原市議議会では、昨年3月に議会BCPを策定しました。



インタビュー

Vol.21 伊良湖岬中学校
わかたか太鼓ボランティア
サークルのみなさん

地域の人々に元気を届けたい

— 設立のきっかけは？

中学校の文化祭での和太鼓体験をきっかけに、「日頃支えていただいている地域の人々に元気を届けたい」という思いから、ボランティアサークルとして10年ほど前から活動が始まりました。

— どんな活動をしていますか？

練習日は、部活動のない毎週木曜日。授業後に約1時間練習しています。1年に2回、和太鼓集団「志多ら」の方からの指導も受けています。演奏は、学校行事だけでなく、市民館まつりや中部・北陸実業団対抗駅伝の開会行事などでも行っています。

— メンバーは？

この活動に興味がある人が自主的に参加しています。メンバー構成は、3年25名、2年14名、1年2名の計41名です。



— 大変なことは？

最初は練習のやり方もわからなかったのですが、大変でした。人数が多いので、みんなで音を合わせるのが難しいです。

— 活動していて良かったことは？

いろいろな行事に参加できるのは楽しいです。デイスーツでの演奏では、お年寄りの方が太鼓に合わせて手拍子してくれましたし、市民館まつりでは、観客の方から「良かったよ」と声をかけてもらえました。自分たちの演奏で地域の人たちが笑顔になってくれるのを見るとうれしいです。

— 今後は？

伊良湖岬中学校は3月31日で閉校しますが、その後も、伊良湖岬小学校区に関係する中学生・高校生を中心とした地域のサークルとして活動を続けていきたいと思っています。



(聞き手：辻 史子・内藤 浩)

平成31年3月取材

発行/愛知県田原市議会 編集/広報広聴委員会 〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1 ☎ 0531-23-3533 FAX 0531-22-5952

☑ <http://www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/>


✉ gikai@city.tahara.aichi.jp

募集 パートさん
しその葉の摘み取り作業
内職さん
しその葉の結束・パック詰め

(応募) まずはお気軽にお電話ください。

TEL 0531-37-0447

(有)前田園芸 田原市江比間町二字郷中45
自宅: TEL0531-37-0447

 **社会福祉法人 福寿園**

愛と感謝と奉仕

養護盲老人ホーム 福寿園
特別養護老人ホーム 田原福寿園
地域密着型複合福祉施設 田原ゆの里
ケアハウス パシフィック
特別養護老人ホーム 渥美福寿園
地域密着型複合福祉施設 花の里

【法人本部】 田原市六連町神ノ釜 9-3
TEL (0531)27-0008 FAX (0531)27-0828